



平成20年10月17日

各 位

会 社 名 松 竹 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 迫 本 淳 一
(コード番号 9601 東・大各第一部、札、福)
問 合 せ 先 取 締 役 油 谷 昇
(TEL. 03-5550-1516)

(訂正)「平成20年2月期 中間決算短信」の一部訂正に関するお知らせ

平成19年10月26日に発表いたしました「平成20年2月期 中間決算短信」の内容に一部誤りが
ありましたので、下記の通り訂正いたします。

記

1. 訂正理由

平成20年2月期 中間決算短信のうち、「中間連結損益計算書」及び「表示方法の変更」の
記載に一部誤りがありましたので、訂正を行います。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____で示しております。

【13ページ】

4. 中間連結財務諸表

(2) 中間連結損益計算書

(訂正前)

区分	注記 番号	前中間連結会計期間 (自平成18年3月1日 至平成18年8月31日)		当中間連結会計期間 (自平成19年3月1日 至平成19年8月31日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自平成18年3月1日 至平成19年2月28日)	
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
営業外費用							
1. 支払利息		351,900		519,152		871,521	
2. 貸倒引当金繰入額		-		-		91,006	
3. 株式交付費償却		8,641		11,115		18,534	
4. 雑支出		363,166	723,708	219,154	749,423	838,184	1,819,247
経常利益又は経常 損失()			1,653,080		1,271,445		1,279,724

(訂正後)

区分	注記 番号	前中間連結会計期間 (自平成18年3月1日 至平成18年8月31日)		当中間連結会計期間 (自平成19年3月1日 至平成19年8月31日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自平成18年3月1日 至平成19年2月28日)	
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
営業外費用							
1. 支払利息		351,900		519,152		871,521	
2. 貸倒引当金繰入額		-		-		91,006	
3. 借入手数料		-		102,213		-	
4. 株式交付費償却		8,641		11,115		18,534	
5. 雑支出		363,166	723,708	116,941	749,423	838,184	1,819,247
経常利益又は経常 損失()			1,653,080		1,271,445		1,279,724

【33ページ】

表示方法の変更
(訂正前)

<p>前中間連結会計期間 (自 平成 18 年 3 月 1 日 至 平成 18 年 8 月 31 日)</p>	<p>当中間連結会計期間 (自 平成 19 年 3 月 1 日 至 平成 19 年 8 月 31 日)</p>
<p>< 後略 ></p>	<p>(中間連結貸借対照表) 前中間連結会計期間において、「連結調整勘定」として掲記されていたものは、当中間連結会計期間から「のれん」として表示しております。</p> <p>(中間連結損益計算書)</p> <p>1. 前中間連結会計期間において、「<u>連結調整勘定償却額</u>」として掲記されていたものは、<u>営業外収益の総額の 100 分の 10 以下であるため、当中間連結会計期間から営業外収益の「雑収入」に含めて表示しております。なお当中間連結会計期間末の償却額は 29,074 千円であります。</u></p> <p>2. <u>中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更の(売上原価の範囲の変更)に記載しているとおり、前中間連結会計期間まで「その他の事業原価」に含めておりました「不動産原価」は、重要度が増加したため区分掲記することとしました。これに伴い前中間連結会計期間まで「その他の事業収入」に含めておりました「不動産収入」も当中間連結会計期間より区分掲記することとしました。</u> <u>なお、前中間連結会計期間に計上した「不動産原価」はありません。また前中間連結会計期間の「不動産収入」は 3,084,517 千円であります。</u></p> <p>3. <u>前中間連結会計期間まで区分掲記しておりました「出資金」(当中間連結会計期間末の残高は 7,334 千円)は、当中間連結会計期間において金額的重要性が乏しくなったため「その他」に含めております。</u></p> <p>< 後略 ></p>

(訂正後)

前中間連結会計期間 (自 平成 18 年 3 月 1 日 至 平成 18 年 8 月 31 日)	当中間連結会計期間 (自 平成 19 年 3 月 1 日 至 平成 19 年 8 月 31 日)
<p style="text-align: center;">< 後略 ></p>	<p>(中間連結貸借対照表)</p> <p>1. 前中間連結会計期間において、「連結調整勘定」として掲記されていたものは、当中間連結会計期間から「のれん」として表示しております。</p> <p>2. 前中間連結会計期間まで区分掲記しておりました「出資金」(当中間連結会計期間末の残高は7,334千円)は、当中間連結会計期間において金額の重要性が乏しくなったため「その他」に含めております。</p> <p>(中間損益計算書)</p> <p>1. 不動産賃貸収入の増加及び今後の不動産賃貸事業の拡大が予想されることから、前連結会計年度まで売上高の「その他の事業収入」に含めておりました「不動産収入」を当中間連結会計期間より区分掲記しております。なお、前中間連結会計期間の「不動産収入」は3,084,517千円であります。</p> <p>また、前連結会計年度まで不動産賃貸収入に対応する費用を販売費及び一般管理費に計上しておりましたが、売上との対応をより明確にするため、当中間連結会計期間より売上原価の「不動産原価」に計上する方法に変更しております。なお、前中間連結会計期間の「不動産原価」は1,984,774千円であります。</p> <p>2. 前中間連結会計期間において、「連結調整勘定償却額」として掲記されていたものは、営業外収益の総額の100分の10以下であるため、当中間連結会計期間から営業外収益の「雑収入」に含めて表示しております。なお、当中間連結会計期間の償却額は29,074千円であります。</p> <p>3. 前中間連結会計期間まで営業外費用の「雑支出」に含めておりました「借入手数料」は、営業外費用の総額の100分の10を超えたため区分掲記いたしました。なお、前中間連結会計期間の「借入手数料」は6,198千円であります。</p> <p style="text-align: center;">< 後略 ></p>

以上